



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月28日

上場会社名 広栄化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 康彰
問合せ先責任者(役職名) 理事経理企画室長 (氏名) 鈴木 篤 (TEL) 03-6837-9304
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,820	△25.2	△12	—	△110	—	△80	—
2025年3月期第3四半期	14,457	10.7	903	—	758	—	498	—

(注)2025年3月期第3四半期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。なお、2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△16.55	—
2025年3月期第3四半期	101.89	—

(注)2025年3月期第3四半期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。遡及適用を行う前と比べて、1株当たり四半期純利益が27.92円増加しています。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	36,381	21,143	58.1
2025年3月期	35,218	21,616	61.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 21,143百万円 2025年3月期 21,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2026年3月期(予想)				50.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	18,000	△10.1	200	△64.7	100	△71.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期3Q	4,900,000株	2025年3月期	4,900,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	8,980株	2025年3月期	8,980株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	4,891,020株	2025年3月期3Q	4,891,117株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間より、原価差異の繰延処理について会計方針の変更を行っており、遡及適用後の数値で前第3四半期累計期間との比較を行っております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要や個人消費の改善など、景気の緩やかな持ち直しが見られました。一方で、米国の関税政策等の影響による景気後退への懸念や日中関係の悪化、ロシア・ウクライナ紛争、不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢のもとで、当社は、売価改定、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は、北米及び欧州向け医農薬関連製品や光学材料製品の販売が減少したこと等により、108億20百万円（前年同四半期比25.2%減）となりました。損益面では、固定費の削減や原料価格低減による増益要因があったものの、売上高減少に伴う数量差損等の減益要因により、営業損益は12百万円の損失（前年同四半期は9億3百万円の利益）、経常損益は1億10百万円の損失（前年同四半期は7億58百万円の利益）、四半期純損益は80百万円の損失（前年同四半期は4億98百万円の利益）となりました。

(製品グループ別売上高)

(単位：百万円)

製品グループ	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品	医農薬関連化学品	7,010	48.5	4,127	38.1	△2,883
	機能性化学品	5,394	37.3	4,526	41.9	△867
	その他	2,052	14.2	2,166	20.0	114
	計	14,457	100.0	10,820	100.0	△3,636
						△25.2

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛金が減少しましたが棚卸資産等が増加し、前事業年度末に比べ28億55百万円増加の158億94百万円となりました。

固定資産は、減価償却費の計上などにより前事業年度末に比べ16億92百万円減少し、204億86百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ11億62百万円増加し、363億81百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金や短期借入金の増加などにより前事業年度末に比べ21億53百万円増加し、94億19百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少により前事業年度末に比べ5億19百万円減少し、58億17百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ16億34百万円増加し、152億37百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払いなどにより前事業年度末に比べ4億72百万円減少し、211億43百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の61.4%から58.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、2025年10月29日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	324	574
売掛金	4,617	3,498
商品及び製品	4,244	7,045
仕掛品	1,662	2,037
原材料及び貯蔵品	2,052	2,356
その他	137	382
流動資産合計	13,039	15,894
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,314	7,704
機械及び装置（純額）	8,671	7,415
建設仮勘定	321	716
その他（純額）	4,224	3,964
有形固定資産合計	21,531	19,801
無形固定資産	105	106
投資その他の資産		
差入保証金	372	372
繰延税金資産	47	81
その他	125	128
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	541	578
固定資産合計	22,179	20,486
資産合計	35,218	36,381
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,097	3,824
短期借入金	1,650	2,750
1年内返済予定の長期借入金	1,666	1,668
未払法人税等	114	25
賞与引当金	164	－
受注損失引当金	20	－
その他	1,552	1,152
流動負債合計	7,265	9,419
固定負債		
長期借入金	3,168	2,650
退職給付引当金	2,016	2,034
その他	1,152	1,133
固定負債合計	6,336	5,817
負債合計	13,602	15,237

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	17,736	17,264
自己株式	△14	△14
株主資本合計	21,616	21,143
純資産合計	21,616	21,143
負債純資産合計	35,218	36,381

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	14,457	10,820
売上原価	10,378	7,180
売上総利益	4,078	3,640
販売費及び一般管理費		
発送費	453	280
給料手当及び賞与	806	864
退職給付費用	48	28
設備維持管理費	227	921
その他	767	812
試験研究費	872	744
販売費及び一般管理費合計	3,175	3,652
営業利益又は営業損失(△)	903	△12
営業外収益		
受取配当金	0	-
受取保険金	-	5
物品売却益	1	1
雇用調整助成金	1	1
雑収入	3	2
営業外収益合計	6	10
営業外費用		
支払利息	65	84
為替差損	62	4
雑損失	23	19
営業外費用合計	151	107
経常利益又は経常損失(△)	758	△110
特別利益		
固定資産売却益	-	6
投資有価証券売却益	5	-
特別利益合計	5	6
特別損失		
固定資産除却損	20	8
投資有価証券売却損	4	-
特別損失合計	25	8
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	739	△111
法人税等	241	△31
四半期純利益又は四半期純損失(△)	498	△80

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

原価差異の繰延処理

従来、操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異につきましては、四半期会計期間において繰延処理を採用しておりましたが、新中期経営計画策定及び親会社である住友化学株式会社の組織改正を契機として、親会社との会計処理の統一、四半期決算の迅速化及び効率化等を目的として、当第1四半期会計期間より原価差異の繰延処理を行わず、原則的処理を採用することといたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期累計期間については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の売上原価が201百万円減少し、営業利益、経常利益、税引前四半期純利益がそれぞれ同額ずつ増加しております。法人税等は65百万円増加し、四半期純利益が136百万円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、ファイン製品事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,276 百万円	2,102 百万円